



# Sun StorEdge™ Fast Write Cache 2.0 ご使用にあたって

---

サン・マイクロシステムズ株式会社  
東京都世田谷区用賀 4 丁目 10 番 1 号  
SBS タワー 〒 158-8633

Part No. 806-5498-12  
Revision A, 2001 年 9 月

Copyright 2001 Sun Microsystems, Inc., 901 San Antonio Road, Palo Alto, CA 94303-4900 U.S.A. All rights reserved.

本製品およびそれに関連する文書は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および関連する文書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

**Federal Acquisitions: Commercial Software—Government Users Subject to Standard License Terms and Conditions.**

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリコービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun, Sun Microsystems, AnswerBook2, docs.sun.com, Sun StorEdge, Sun Enterprise は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) の商標もしくは登録商標です。

サン・のロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

Java およびその他の Java を含む商標は、米国 Sun Microsystems 社の商標であり、同社の Java ブランドの技術を使用した製品を指します。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

Netscape、Navigator は、米国 Netscape Communications Corporation の商標です。Netscape Communicator については、以下をご覧ください。Copyright 1995 Netscape Communications Corporation. All rights reserved.

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインターフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

本書には、技術的な誤りまたは誤植のある可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

|     |   |
|-----|---|
| 原典： | Sun StorEdge Fast Write Cache 2.0 Release Notes<br>Part No: 806-3165-12<br>Revision A |
|-----|---|



Please  
Recycle



Adobe PostScript

# Sun StorEdge Fast Write Cache 2.0 ご使用にあたって

---

このマニュアルでは、Sun StorEdge™ Fast Write Cache 2.0ソフトウェアに関する、重要な最新の製品情報を説明します。このマニュアルの内容は、次のとおりです。

- 1 ページの「インストールおよび保守情報」
- 2 ページの「関連マニュアル」
- 4 ページの「製品情報」
- 7 ページの「既知のバグの回避策」
- 9 ページの「マニュアルの補足および修正事項」

---

## インストールおよび保守情報

サンのサポートまたは保守プロバイダは、製品情報について次の Web サイトを参照してください。

<http://webhome.ebay/networkstorage/products/>

米国内におけるインストールサービスについては、次の電話番号でサンに問い合わせてください。

1-800-USA4SUN (1-800-872-4786)

米国以外でのインストールサービスについては、ご購入先に問い合わせてください。

保守および販売、コンサルティング、サポートについては、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.sun.com/service/support/contactsalesoffice.html>

<http://www.sun.com/service/support/sunsolve/index.html>

---

## 関連マニュアル

| 用途               | マニュアル名  | Part No. |
|------------------|---|----------|
| マニュアルページ         | fwcadm (1FWC)<br>cache_control<br>cache_config<br>cache_health<br>svadm (1SV) | 該当なし     |
| ユーザー             | 『Sun StorEdge Fast Write Cache 2.0 システム管理<br>マニュアル』                           | 806-5488 |
| 設定               | 『Sun StorEdge Fast Write Cache 2.0 設定マニュアル』                                   | 806-5483 |
| インストール           | 『Sun StorEdge Fast Write Cache 2.0 インストール<br>マニュアル』                           | 806-5493 |
|                  | 『Sun StorEdge Fast Write Cache 2.0 SBus NVRAM<br>カード設置マニュアル』                  | 806-6401 |
|                  | 『Solaris 2.6 Handbook for SMCC Peripherals』<br>(英語版)                          | 802-7295 |
|                  | 『Sun 周辺機器使用の手引き』  | 806-0101 |
|                  | 『Solaris 2.x Handbook for SMCC Peripherals』<br>(英語版)                          | 801-5488 |
| オプション            | 『OpenBoot 3.x コマンド・リファレンスマニュアル』   | 805-5644 |
| 診断 (Solaris 2.6) | 『SunVTS 2.1 ユーザーマニュアル』  | 805-3011 |
|                  | 『SunVTS 2.1.3 テストリファレンスマニュアル』   | 805-5252 |
|                  | 『SunVTS 2.1 Quick Reference』 (英語版)  | 802-7301 |

| 用途                          | マニュアル名   | Part No.                    |
|-----------------------------|--|-----------------------------|
| 診断 (Solaris 7)              | 『SunVTS 3.0 ユーザーマニュアル』   | 805-5651                    |
|                             | 『SunVTS 3.0 テストリファレンスマニュアル』  | 805-5652                    |
|                             | 『SunVTS 3.0 Programmer's Guide』 (英語版)  | 805-7338                    |
|                             | 『SunVTS リファレンスカード』   | 805-5653                    |
|                             | 『SunVTS 3.1 ユーザーマニュアル』   | 806-0109                    |
|                             | 『SunVTS 3.1 テストリファレンスマニュアル』  | 806-0110                    |
|                             | 『SunVTS リファレンスカード』   | 806-0111                    |
|                             | 『SunVTS 3.2 ユーザーマニュアル』   | 806-0736                    |
|                             | 『SunVTS 3.2 テストリファレンスマニュアル』  | 806-0737                    |
|                             | 『SunVTS 3.2 Toolkit Test Developer's Guide』 (英語版)                              | 806-1321                    |
|                             | 『SunVTS 3.2 Toolkit Release Notes』 (英語版)                                       | 806-1329                    |
|                             | 『SunVTS 3.3 ユーザーマニュアル』   | 806-1915                    |
|                             | 診断 (Solaris 7)   | 『SunVTS 3.3 テストリファレンスマニュアル』 |
| 『SunVTS 3.4 ユーザーマニュアル』      |  | 806-3064                    |
| 『SunVTS 3.4 テストリファレンスマニュアル』 |  | 806-3065                    |
| 診断 (Solaris 8)              | 『SunVTS リファレンスカード』   | 806-3914<br>または<br>806-0738 |
|                             | 『SunVTS 4.0 ユーザーマニュアル』   | 806-3912                    |
|                             | 『SunVTS 4.0 テストリファレンスマニュアル』  | 806-3913                    |
| ユーザー                        | 『Sun Enterprise 3x00, 4x00, 5x00, 6x00 システム Dynamic Reconfiguration ユーザーマニュアル』 | 805-5247                    |
|                             | 『Sun Enterprise 6x00, 5x00, 4x00, 3x00 システム Dynamic Reconfiguration ユーザーマニュアル』 | 806-1041                    |
|                             | 『Sun Enterprise 10000 Dynamic Reconfiguration ユーザーマニュアル』                       | 806-1042                    |

---

## 製品情報

この節では、次の項目について説明します。

- 4 ページの「Sun StorEdge ソフトウェアおよび Java ソフトウェアの要件」
- 5 ページの「コマンドのインストール先」
- 6 ページの「Sun Enterprise 10000 のボードの取り付け条件」
- 6 ページの「scmadm -redevid の機能説明について」

## Sun StorEdge ソフトウェアおよび Java ソフトウェアの要件

次に、Sun StorEdge ソフトウェアに必要な Java™ ソフトウェアのバージョンを示します。

### Sun StorEdge Instant Image ソフトウェア

Sun StorEdge ソフトウェアを正しく動作させるには、Java 実行環境 (JRE) をインストールする必要があります。このリリースでは、次に示すバージョンの Java ソフトウェアだけをサポートしています。

- Sun StorEdge Component Manager 2.1 ソフトウェアをインストールしない場合：  
Java バージョン 1.2.1\_04b ~ 1.2.2\_05a
- Sun StorEdge Component Manager 2.1 ソフトウェアをインストールする場合：  
Java バージョン 1.2.2\_05a

---

注 – Sun StorEdge Instant Image 2.0 および Sun StorEdge Component Manager 2.1 ソフトウェアは、バージョン 1.3.0 以降の Java バージョンをサポートしていません。

---



---

**注意** – Sun StorEdge ソフトウェアをインストールする前に、サポートされているバージョンの Java ソフトウェアをインストールしてください。サポートされているバージョンの Java にシステムをアップグレードしないと、ソフトウェアはインストールできますが、インストールの終了後にソフトウェアが正しく動作しない可能性があります。

---

現在、システムにインストールされている Java ソフトウェアのバージョンを確認するには、次のコマンドを入力します。

```
# java -version
```

Java ソフトウェアのバージョンを更新するには、<http://java.sun.com> を参照してください。

---

**注** – フランス語または日本語、中国語の Sun StorEdge ソフトウェアをインストールする場合は、その地域に対応したバージョンの Java ソフトウェアを読み込んでください。

---

## Sun StorEdge Component Manager 2.1 ソフトウェア

Sun StorEdge Component Manager 2.1 ソフトウェアは、Sun StorEdge Instant Image 2.0 ソフトウェアより前にインストールする必要があります。

## コマンドのインストール先

Sun StorEdge Fast Write Cache のコマンドは、次の場所にインストールされます。

```
/usr/opt/SUNWesm/sbin
```

```
/usr/opt/SUNWesm/bin
```

## Sun Enterprise 10000 のボードの取り付け条件

Sun StorEdge Fast Write Cache ソフトウェアを Sun Enterprise™ 10000 サーバーにインストールしている場合は、共有の記憶装置にキャッシュする場合を除いて、ドメインごとに 2 枚の SBus NVRAM ボードを持つことができます。

### scmadm -redevid の機能説明について

scmadm コマンドの redevid 機能は、scmadm(1m) のマニュアルページと『Sun StorEdge Fast Write Cache 2.0 システム管理マニュアル』の両方で説明されています。redevid は、交換された物理ディスクを Sun StorEdge Fast Write Cache ソフトウェアで識別し直す機能です。この機能が必要なのは、交換された物理ディスクがボリュームマネージャーの管理下になく、マシンの停止が不完全に終わり、回復の際にキャッシュソフトウェアが固有名称の不一致を検出した場合だけです。この場合、redevid を実行し、Sync か Purge のどちらかをディスクに実行してデバイスのオフライン状態を解消するまでは、そのディスクを使用できません。



---

## 既知のバグの回避策

この節では、次に示す既知のバグに対する回避策を示します。

- 7 ページの「4306093 Sun StorEdge Fast Write Cache 2.0 をインストールすると Sun Management Center ソフトウェアを実行できない」
- 8 ページの「4310143 fwcadm cache -s が使用法のエラーになる」
- 8 ページの「4349810 Sun StorEdge Fast Write Cache 2.0 をインストールすると Sun Management Center 2.1.1 ソフトウェアを実行できない」
- 8 ページの「4486833 Sun StorEdge 2.0 サービスソフトウェア CD に誤った情報が記載されている」

### 4306093

#### Sun StorEdge Fast Write Cache 2.0 をインストールすると Sun Management Center ソフトウェアを実行できない

Sun StorEdge Component Manager ソフトウェアのインストール後に Sun<sup>TM</sup> Management Center ソフトウェアを実行すると、Java のバージョンの不一致のために、Sun Management Center ソフトウェアの実行に失敗します。Sun StorEdge 管理コンソールの基礎部分 1.1.0.5 は、Java 1.2.1\_04 に基づいています。これに対して、Sun Management Center ソフトウェアは、Java 1.2.1\_04a でだけ動作します。

**回避策** : Sun Management Center の次のファイルを変更します。

```
/opt/SUNWsymon/classes/base/console/bin/es-console.sh
```

```
/opt/SUNWsymon/classes/base/server/bin/es-server.sh
```

ここでは、Sun Management Center ソフトウェアがデフォルトのディレクトリ /opt/SUNWsymon にインストールされていることを前提としています。

両方のファイルを次のように編集します。

```
OUT='java -version 2>&1 | grep -c "Solaris_JDK_1.2.1_04a"'
```

この部分を次のように変更します。

```
OUT='java -version 2>&1 | grep -c "Solaris_JDK_1.2.1_04"'
```

### 4310143

#### **fwcadm cache -s が使用法のエラーになる**

fwcadm cache -s を実行すると、使用法のエラーになります。これは、NVRAM カードの状態を検査するためにサポートされている処理で、『Sun StorEdge Fast Write Cache 2.0 システム管理マニュアル』でも説明されています。

**回避策：** scmadm -S コマンドを使用して、NVRAM の統計情報を確認します。

### 4349810

#### **Sun StorEdge Fast Write Cache 2.0 をインストールすると Sun Management Center 2.1.1 ソフトウェアを実行できない**

Sun StorEdge Fast Write Cache 2.0 ソフトウェアによってインストールされた Java ソフトウェアのバージョンは、Sun Management Center 2.1.1 ソフトウェアと互換性がありません。

**回避策：** Sun Management Center 2.2.1 ソフトウェアを最後にインストールします。すでにインストールされている場合は削除し、Sun StorEdge Fast Write Cache ソフトウェアをインストールしたあとに、Sun Management Center 2.2.1 ソフトウェアを再インストールします。

### 4486833

#### **Sun StorEdge 2.0 サービスソフトウェア CD に誤った情報が記載されている**

Sun StorEdge サービスソフトウェアの CD ケースには、CD のすべてのマニュアルが Adobe® Acrobat (.pdf) 形式であると記載されていますが、一部のマニュアルには、PostScript™ (.ps) 形式のものがあります。

**回避策：**

PostScript ファイルは、PostScript プリンタで出力したり、PostScript ビューアを使用して表示できます。

Adobe Acrobat 形式の Sun StorEdge サービスソフトウェアマニュアルの最新バージョンは、次の Web サイトから参照できます。

<http://www.sun.com/products-n-solutions/hardware/docs>

---

## マニュアルの補足および修正事項

この節では、製品マニュアルの補足情報を示します。これらの製品に関する注意事項について、次の節も参照してください。

- 8 ページの「4486833 Sun StorEdge 2.0 サービスソフトウェア CD に誤った情報が記載されている」

## すべての Sun StorEdge インストールマニュアルについて：nsswitch.conf ファイルの設定

このインストール手順は、Sun StorEdge バージョン 2.0 および 2.0.1 サービスソフトウェアを実行しているマシンが、`/etc/hosts` ファイルにあるホスト名を読み込み、認識していることを確認するために役立ちます。この節では、テキストエディタを使用して、`/etc/nsswitch.conf(4)` ファイルを編集します。

1. `/etc/nsswitch.conf` ファイルに、次のように `hosts: エントリ` および `services: エントリ` を指定します。

`files` が、`nis` または `nisplus` より前にあることを確認してください。

- NIS ネームサービスを使用するシステムの場合：

```
hosts: files nis
services: files nis
```

- NIS+ ネームサービスを使用するシステムの場合：

```
hosts: files nisplus
services: files nisplus
```

2. マシンを停止して、再起動します。

```
# /etc/shutdown -y -g 0 -i 6
```

## システム管理マニュアルおよびインストールマニュアルの動的再構成 (DR) の情報

『Sun StorEdge Fast Write Cache 2.0 システム管理マニュアル』および『Sun StorEdge Fast Write Cache 2.0 SBus NVRAM カード設置マニュアル』に、サンの動的再構成 (DR) の説明があります。これらのマニュアルは、DR を実行する前に Sun StorEdge Fast Write Cache 2.0 ソフトウェアおよびハードウェアを使用可能または使用不可にする方法を説明しています。この説明には、次の追加情報があります。

動的再構成 (DR) を実行すると、ホストのメモリーが切り離される場合があるため、先にキャッシュソフトウェアを使用不可にします。通常、次の手順で行います。

1. 次のように入力し、FWC ソフトウェアを使用不可にします。

```
# fwcadm cache -d
```

2. 動的再構成 (DR) を実行します。
3. 次のように入力し、キャッシュソフトウェアを使用可能にします。

```
# fwcadm cache -e
```